

サトウキビの野生種交配集団の高貴化に伴う実用形質の変異

第6報 高貴化に伴う茎径の変異

高袋正樹・杉本 明・金城鉄男・*Soejoto Sastrowijone・**George T. Silverio・**Ronquillo D. Pillardo
(沖縄県農業試験場・*インドネシア糖業研究所・**フィリピンさとうきび委員会)

Masaki SHIMABUKU, Akira SUGIMOTO, Kaneo KINJO, Soejoto SASTROWIJONE, George T. SILVERIO, Ronquillo D. PILLARDO: Variation of Some Useful Characters in the Sugarcane Hybrid Clones Between *S. spontaneum* and Commercial Variety.

6. Variation of Stalk Thickness in Hybrid Clones of *S. spontaneum* and Commercial Variety

茎径は一茎重と最も関係が深く、一茎重を通じて収量と関係する重要な形質である。サトウキビ野生種は極細茎の系統が多く、*S. Spontaneum* を育種的に利用する場合 *Spontaneum* の極細茎が高貴化に伴う遺伝性を知るためにこの調査を行った。

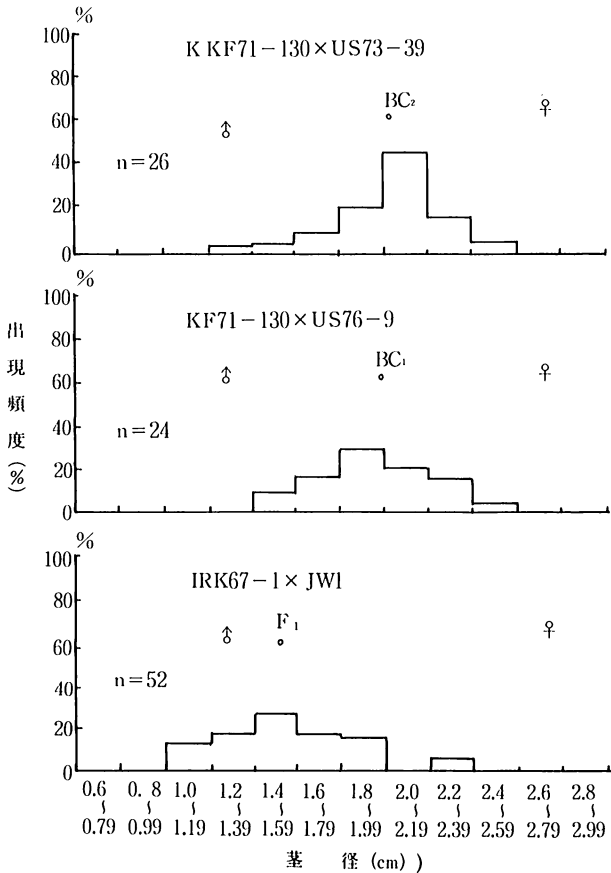
1. 材料および方法

1982年4月植付けの実生選抜試験から第1次高貴化世代22組合せ、第2次高貴化世代7組合せ、第3次高貴化世代6組合せを各30個体から52個体を連続的に抽出して

茎径を調査した。

2. 結果および方法

第1図に *Spontaneum* の高貴化に伴う茎径の変異を示した。第1次高貴化から第3次高貴化に伴って、茎径は太径になり、経済品種に近づいていく変異を示した。第1次高貴化から第3次高貴化までの実生集団の茎径で母本の茎径を越える個体は出現しなかった。*Spontaneum* の高貴化に伴う茎径の変異は相加的遺伝様式に従うものと考えられる。



第1図 高貴化に伴う茎径の変異